

L. 聖化(霊的成長)

1. 聖化とは？

霊的成長という何を連想するだろうか？聖書に詳しくなることや教会活動における活躍などを連想しやすいが、これらは、霊的成長の過程や結果であることが多いが、成長そのものではない。エペソ 4:13,15 によると、霊的成長とは、私たちの性格・性質が、キリストに似たものに変えられることであり、これを「聖化」とよぶ。

(1)「似せられる」とは？

- ①キリストの「真似」をしたり、「こうあらねばならない」と外見を整えることではない。私たちの自然体の性格や性質そのものを、神が、キリスト的品性に変えてくださるのである。
- ②御霊の実(ガラテヤ 5:22)は、「何ができるか」より、物ごとに応じる「内面の姿勢」が多い
- ③キリスト化されるほど、個性（＝肢体の部分としての特性）が発揮されてくる

(2)知識と信仰における成長

霊的成長に関する聖書箇所は、「知識」に関連して語られることが多い

エペソ 4:13～15 コロサイ 3:9,10 2ペテロ 3:18 等

- ①神とキリストの人格（御性質）を知る知識（コロサイ 1:9-10 2コリント 2:14）
- ②神の計画を知る知識（ローマ 16:25-26）➡ 御国に入る日から今を見る視点
- ③知識における成長の結果は、信仰の成長となって現れる（2テサロニケ 1:3）

霊的成長: 性質においてキリストに似せられ、神を知る知識と神を信頼する信仰が豊かになること

2. 霊的成長は、どのように実現されるか

私たちが聖化するのには内住の御霊の働きであるが、御霊は一方的に（強制的に）私たちが聖化することはなさない。御霊は、(1)御言葉、(2)私たちが主に向くこと、(3)兄弟姉妹との相互関係、を通して、その御業をなさる

(1)御言葉を通して（使徒 20:32）

「神とキリストを知る知識」を身に着けるには、通読とディボーションが欠かせない ➡B. 5 (2)

(2)主に向くことを通して（2コリント 3:16～18）

「覆いを取り除かれた顔に」とあり、その条件は、16節の「人が主に向くなら」(第3版)である。

- ①主に向かって正直に祈る。そして、御言葉に耳を傾け、御言葉を信じて従う
- ②常に「対主」を意識して生きる（詩編 16:8『私はいつも、私の前に主を置いた』第3版）

(3)他の兄弟姉妹との相互関係を通して（エペソ 4:6）➡J. 2

3. 神が与える試練 — いずれ栄化されるのに、苦勞して聖化されることにどんな意味があるのか？

(1)試練を通さないと、神の本質(愛・赦し)を知り、経験することは難しい（ピリピ 2:6～11）

(2)試練は、神が私たちが聖化するための方法（ローマ 5:3-4 1ペテロ 1:7）

- ①神は私たちのためにふさわしい試練を用意して与えられる（ヘブル 12:10-11）
- ②サタンのささやき「神はあなたを嫌っていじめているのだ」に騙されないように注意